

家族で学ぼう 健康講座

お口の健康から身体への健康へ

受講してきました



2024.12.21 総合青山病院歯科口腔外科松下部長による豊橋創造大学保健医療学部理学療法学科連携公開講座

今まで何度かこの豊橋創造大学の公開講座を受講させて頂いていますが、どの講座もここに書くよりも分かりやすく、それぞれの講師の人柄も相まって楽しく受講できます。大学で受講しますが、単位など気にせず聞けるので、こころが平和です。また、専門家の余談は面白いです。土日に行っていることが多いので、ぜひ検索してみてください。

口の中の細菌:1000億~1兆個

※他の臓器に匹敵する数の細菌が住んでいます。



歯の特殊性

これは健康な歯



それは、顎骨に植立！していること。歯や歯肉の細菌が容易に顎骨(骨髄)に侵入。そして血管へずっと移動。筋組織にもずっと移動。唾液と一緒に内臓へずっと移動。口内細菌は全身へ。

疾患

炎症：歯周炎、う蝕（むし歯）、顎骨骨髓炎、顎骨壊死、粘膜の炎症など
悪性腫瘍：がん／良性腫瘍：顎骨腫瘍、軟組織腫瘍／睡眠時無呼吸症候群／唾液腺疾患

がん細胞に歯周病菌が発見されているそうです。直接関与の可能性も。(医学誌)

直接打撃！

顎骨骨髓炎、顎骨壊死

↑実は超怖い。歯は抜いても歯が残っていることも。その歯が繁殖。骨が壊死→他の疾患にも歯が移行。全身治療ができないと数日で亡くなった例も。

※薬剤による誘因もあります。

ビスホスホネートおよびデノスマブを要チェック（骨粗鬆症・がん・間接リウマチの治療薬）

骨粗鬆症の薬がなんで顎の骨に打撃があるの？は次ページ。

脳梗塞

骨粗鬆症

大腸がん
食道がん
肺がんなど

肝炎

心臓病

よく聞く歯の代表格

歯周炎

歯周ポケットで繁殖。骨の破壊が仕事。

う蝕

酸で溶かすのが仕事。

こういった歯が身体に侵入すると...

腎臓病

早産・低体重児出産

誤嚥性肺炎

糖尿病

肥満

お口の健康から身体の健康へ

つづき

2024.12.21 総合青山病院歯科口腔外科松下部長による豊橋創造大学保健医療学部理学療法学科連携公開講座



顎骨骨髓炎、顎骨壊死 骨粗鬆症のお薬による誘因について

お薬:ビスホスホネートとデノスマブ

- ➔ 骨を壊す細胞の活動を抑制 (*骨は作る細胞と壊す細胞のバランスで作り変えられています)
 - ➔ 骨粗鬆症は骨がもろくなるので、壊す方の細胞を抑制して、古い骨を残す
 - ➔ 骨粗鬆症の改善 (とても良いお薬です)
- ⚠️ しかし、この古い骨に歯や歯肉から入った細菌が顎骨内にあると、留まることに
- ➔ 壊死へ。そしてさらに深部へ・・・



なのでこの2つの薬を使用する前には、口の診査を受け、先生にも治療の歯があれば報告を！もしもなってしまうても、歯科口腔外科を紹介してもらいましょう。また治療薬の相談はしっかりしましょう。

睡眠時無呼吸症候群の軽減に口腔内装置



睡眠時無呼吸症候群とは、

睡眠中に、1時間あたり5回以上、秒以上呼吸が止まる状態。また、無呼吸とまではいかないが、呼吸が浅くなる状態の低呼吸がある場合をいいます。

高血圧、心臓病、脳卒中、糖尿病という命に関わるような病気と密接に関連していることがわかってきています。またうつ病発症リスクも高くなります。睡眠時無呼吸症候群の潜在的患者数は300万~900万人とも言われています。

治療方法(睡眠時無呼吸症候群と口の健康)



- ➔ CPAP 治療が有名ですが、ランニングコストがかかることや就寝時の環境設定、条件が面倒、継続できなかったなどがあり躊躇する方もいらっしゃいます。
- ➔ 口腔内装置 (下顎を持ち上げて気道を拡大するマウスピース) を使用することで、より楽に治療を始めることが出来ます。ただし、口腔内に装着できなければ、使用することが出来ない為、歯の健康はとても大切です。この口腔内装置は口腔外科で取り扱っており、保険適用です。

この口腔内装置、睡眠時無呼吸症候群の中度の方にも有効である可能性が研究から示唆されています。また、糖尿病が改善した例もあるそうです。睡眠時無呼吸症候群が心配な方や CPAP 治療に不安がある方はこういった治療法があることも知っておくと、検査も受けやすいのではないのでしょうか。